

常不輕菩薩の生き方に切り替えよう

【5月6月度の御金言】法華経は明鏡の中の神鏡なり。(中略)法華経は人の形を浮かぶるのみならず、心をも浮かべ、心を浮かぶるのみならず、先業をも未来をも鑑み給ふ事くもりなし。

神国王御書(全

1521p)

◎月々の法要に参詣出来ない時は(コロナや体調不良)自宅の御本尊様に向かい、三寶院と同じ日時に、同じ志で勤行唱題して下さい。電話でもメールでも気軽に、悩み事がありましたら声を聞かせて下さい。息苦しい、重苦しい時代こそ日蓮大聖人の法、信・行・学が必要です。◎

◎政府は《行動制限緩和》と言って、《マスク着用は個人の判断》と発表しましたが、コロナ感染に対する、決定的な方法は、いまだに見出せず、医療、介護、保育、教育、接客等々関係に携わる方々は、家庭生活を二の次にして、長年旅行も出来ない、休みも十分にとれないという、犠牲の上に、いまだに綱渡りの状態で生活しています。政治家が決める事ではないのであります。これ等の事を考え、三寶院では、引き続き今迄通り、参詣の時には【マスク着用】で御願います。御互いの生命を守る為、御理解御協力の程、宜敷く御願ひ致します。◎

法華講信条

- 1, 謗法嚴戒の信仰を貫こう。(信心)
- 1, 行学絶へなば仏法はあるべからず。(行学)
- 1, ただ一言でも妙法を伝える勇氣を持とう。(破邪顯正)
- 1, どんなことがあっても憶持不忘の信心を貫こう。
- 1, 現世利益絶対否定の信心をしよう。(示教利喜)
- 1, 成仏大願、菩提心堅固の精進をしよう。
- 1, 御題目を唱える為にこそ生まれてきた自覚を持とう。
- 1, 噂に流されない、人に媚びへつらわない自立した信心をしよう。
- 1, 妙法聞法の縁を大切に求道の信心をしよう。

1991年2月13日掲載



☆ 行学絶へなば仏法はあるべからず。(行学)

日蓮大聖人の法は、どんな生命にも仏の生命が具わっていて、どんな生命でも、南無妙法蓮華経の法を信じ修行する事によって、どんな生命も成仏する事が出来る。という法であります。

- ① 精神を病んでいる人も成仏出来るのか。
- ② 理論的に物事を考えられない感情優先の切れやすい人でも成仏出来るのか。
- ③ 文盲の学問の無い、理解出来ない人は成仏出来るのか。
- ④ 創価学会員は成仏出来るのか。

⑤何にも分からない乳児、幼児、小学生等々の幼すぎて妙法蓮華經の法が何か分から ないチンプンカンプン人々は成仏出来るのか。

⑥正信会に所属していても、日蓮大聖人の法が何なのか、考えようもしない、学ぼうともしない、朝晩勤行もしない、何にも分からない、たまに手を合わせて南無妙法蓮華經と唱えてみると、何か良い事をしたような心が休まるから、仏壇だけは御安置しているという人でも成仏出来るのか。

⑦日蓮大聖人の弟子であったのだから、五老僧でも成仏出来るのか。

⑧殺人、強盗、詐欺、放火等々の犯罪を犯した者でも成仏出来るのか。

という疑問があります。

悪い事や謗法を犯せば、当然その罪を反省し償わなければいけません。どんなに人を助ける善行を行っても、悪い事をした事がプラスマイナスでチャラになる事はありません。成仏しても法華經の行者として謗法罪障消滅しなければならないものは引き続きます。

私達が日頃読んでいる法華經の中には、一番罪障の深い衆生は、【不聞三寶名】と言い、【法仏僧】の三寶の名を生涯の中で一度も聞く事、縁する事が出来ない生命は、成仏する事は勿論の事、地獄に墮ちる事も出来ないで、ひたすら【法仏僧】【南無妙法蓮華經の法・末法の本仏日蓮大聖人・第二祖日興上人】の三寶の縁に会おうまで、さまよわなければいけないというのであります。つまり、一番大切な事は妙法に縁する事であり、縁をして、信じる人、信じられない人、反発して否定し誹謗する人、まったく関心を持たない人等々と分かります。信じる人は法華經の行者となります。信じられない人、反発する人は、一切衆生平等成仏の法を否定した謗法の苦しみを経験する事になり、その百年二百年の地獄の苦しみの中から、以前に南無妙法蓮華經の法に縁した事に気付き、南無妙法蓮華經の法が一切衆生平等成仏の法である事に目覚めます。

【常不輕菩薩】も、今自分が 24 文字（妙法蓮華經の法）を折伏すると、暴力、誹謗の難を受けなければならぬのは、自分の過去に 24 文字（妙法蓮華經の法）誹謗の罪がある為、今その謗法罪障消滅として弘通に苦難をうけているのである【其罪畢己】と説かれています。そして、その【常不輕菩薩】を誹謗している 24 文字（妙法蓮華經の法）誹謗の【四衆】は、その罪を【畢是罪己】の罪を受け、何年も地獄の苦しみを受ける中で目覚め気付いて謗法罪障消滅して初めて、【常不輕菩薩】と同じ【其罪畢己】の生命として生まれ、24 文字（妙法蓮華經の法）行者として生きる事が出来ると説かれるのであります。

つまり【畢是罪己（不信者）】の機根から【其罪畢己（信仰者）】の機根に変わり、

【汝等皆菩薩の道を行じて、当に作仏する事を得べしと】と、法華經の行者として生きる志が、成仏なのであります。事故で身体が奪われ、老衰で身体が動かなくなり、寝たきりになったとしても、何もまだ分からない乳児であっても、①②③④⑤⑥⑦⑧全部いつかは必ず、機根が切り替わり成仏出来るのであります。④は南無妙法蓮華經が現世利益の呪文であるという考え方の間違いに目覚めない限り、どれだけ南無妙法蓮華經の御題目を唱えても、【不聞三寶名】と同じで、南無妙法蓮華經の縁に触れた事にはならないと考えます。誰もが仏性（仏の生命）を持っていますが、その仏性に気付く目覚め信じる事が出来なければ、持っていないと同じなのであります。仏性は平等ですが、信じる事が出来なければ、成仏は出来ないのであります。

だからこそ、【行学】は、自分で自分に、妙法の縁を何度も何度も深く結び、二度と不信謗

法者に逆戻りしない為に、とても大切にしなければいけない事なのであります。他人にも自分にも、妙法の縁を深く結び、南無妙法蓮華經の宿縁深厚の法華經の行者、いつでも南無妙法蓮華經の仏の自覚、信心修行の喜びを感じる事の出来る衆生を目指してもらいたいの
であります。